平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名　株式会社 KVK　　上場取引所　大
コード番号　6484　URL　http://www.kvk.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 末松　正幸
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 中島　宏樹　TEL 058-293-0007

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,871	10.8	422	27.8	446	22.7	298	37.4
23年3月期第1四半期	5,297	△4.5	330	29.2	364	43.0	217	14.6

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　268百万円　(110.5%)　23年3月期第1四半期　127百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	18.18	17.86
23年3月期第1四半期	13.23	13.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	19,295	10,695	55.2
23年3月期	19,353	10,525	54.2

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　10,659百万円　23年3月期　10,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	6.00	―	6.00	12.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		6.00	―	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,300	5.2	650	4.6	700	3.9	400	0.7	24.39
通期	22,800	1.7	1,600	0.7	1,700	1.6	950	4.3	57.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3【サマリー情報(その他)に関する情報】をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	16,531,157 株	23年3月期	16,531,157 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	96,070 株	23年3月期	127,743 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	16,404,807 株	23年3月期1Q	16,408,128 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間（平成23年４月１日～平成23年６月30日）におけるわが国経済は、本年３月に発生した東日本大震災の影響による経済活動の停滞、夏場の電力供給不足、さらには、自粛ムードによる個人消費の抑制が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

水栓業界におきましては、住宅ローン減税制度、住宅エコポイント制度など住宅取得支援策が継続され、震災発生後、住宅投資マインドの低下が懸念されましたが、首都圏の分譲を中心に持ち直しの兆しが見られるようになりました。

このようなもとで、当社グループは、本年４月より新中期経営計画「Innovation&Growth」をスタートさせ、水栓金具のトップメーカーをめざし、「常にあるべき姿を追求し柔軟かつスピーディーに進化し続ける。」を推し進めるとともに、ライフライン復旧に向けた仮設住宅の水まわり品の安定供給に取り組んでまいりました。

商品面では、環境にやさしい快適な暮らしへのニーズがますます高まるなかで、お客様視点に立ち、快適性、使いやすさ、節水効果を向上させた差別化した競争力のある商品づくりに取り組んでまいりました。

営業面では、停滞水防止継手のラインアップを拡充し、需要の掘り起こしにつなげるとともに、新規開拓、販売店・水道工事店への川上営業の強化および採算性を重視した受注活動に努めてまいりました。

生産面では、ＫＰＳ(KVK Production System)活動を柱に、需要の変化に柔軟・迅速な対応ができる最適生産体制づくりをめざし、徹底した原価管理と品質向上に努め、工場直接出荷により見えてきた受注から調達・生産・出荷までの仕組みの再構築をはじめ、生産性・稼働率のアップ、モジュール化、物流改革を推し進め、工場の付加価値向上に注力してまいりました。

こうした諸施策の結果、当第１四半期の連結業績につきましては、復興需要も加わり売上高58億71百万円（前年同期比10.8％増）となりました。損益面につきましては、原材料価格が高止まりするなか、グループ一丸となって、在庫圧縮、仕入れコストの抜本的な見直し、経費の削減などトータルのコスト管理を強化し、引き続き固定費・変動費の引き下げに努め、営業利益４億22百万円（前年同期比27.8％増）、経常利益４億46百万円（前年同期比22.7％増）、四半期純利益２億98百万円（前年同期比37.4％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べ57百万円減少し、192億95百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が51百万円、貸倒引当金が90百万円及び有形固定資産が100百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ227百万円減少し、86億円となりました。これは主に短期借入金が180百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が48百万円、未払法人税等が201百万円及びその他の流動負債が113百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ169百万円増加し、106億95百万円となりました。これは主に四半期純利益298百万円及び剰余金の配当98百万円によるものです。この結果、自己資本比率は55.2%（前連結会計年度末は54.2%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、本格的な復興需要に向けての期待が高まるものの、電力供給不足による経済活動への影響、資源高、為替の変動など景気の下振れリスクが存在し、住宅政策も段階的に縮小する見通しであり、先行きへの不透明感を払拭できない状況が続くものと思われます。

当社グループは、変革のスピードを緩めることなく、お客様視点の徹底で、前述いたしました各種の諸施策を着実に遂行し、小回りが利き、かつ持続的な成長と発展が可能な筋肉質な経営体質づくりへ挑戦し続けてまいります。

なお、現時点において、平成23年５月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,448,355	1,445,517
受取手形及び売掛金	8,453,583	8,402,155
商品及び製品	824,438	843,570
仕掛品	712,548	710,571
原材料及び貯蔵品	1,258,088	1,266,087
その他	458,153	453,445
貸倒引当金	△158,910	△68,210
流動資産合計	12,996,259	13,053,137
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	1,750,942	1,680,575
土地	1,976,651	1,976,651
その他（純額）	2,013,878	1,984,177
有形固定資産合計	5,741,472	5,641,405
無形固定資産	137,576	131,701
投資その他の資産		
投資有価証券	226,798	219,834
その他	395,714	394,195
貸倒引当金	△144,424	△144,424
投資その他の資産合計	478,088	469,604
固定資産合計	6,357,136	6,242,711
資産合計	19,353,395	19,295,849
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,516,664	4,468,102
短期借入金	1,780,000	1,960,000
未払法人税等	436,850	235,435
その他	1,367,813	1,253,818
流動負債合計	8,101,327	7,917,355
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付引当金	252,791	250,882
負ののれん	127,409	110,791
その他	246,012	221,342
固定負債合計	726,213	683,015
負債合計	8,827,541	8,600,371

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,831,425	2,831,425
資本剰余金	2,999,825	2,999,825
利益剰余金	5,093,665	5,292,008
自己株式	△24,555	△18,499
株主資本合計	10,900,360	11,104,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,832	△10,568
為替換算調整勘定	△409,053	△434,429
その他の包括利益累計額合計	△414,885	△444,997
新株予約権	40,379	35,716
純資産合計	10,525,854	10,695,478
負債純資産合計	19,353,395	19,295,849

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	5,297,232	5,871,094
売上原価	3,882,669	4,383,433
売上総利益	1,414,562	1,487,661
販売費及び一般管理費	1,083,896	1,065,093
営業利益	330,666	422,567
営業外収益		
受取利息	195	124
受取配当金	1,987	2,035
負ののれん償却額	16,618	16,618
為替差益	9,386	－
その他	23,639	23,190
営業外収益合計	51,826	41,970
営業外費用		
支払利息	9,176	5,283
売上割引	7,851	8,139
為替差損	－	3,739
その他	1,219	464
営業外費用合計	18,246	17,627
経常利益	364,245	446,910
特別利益		
貸倒引当金戻入額	34,873	90,700
投資有価証券売却益	155	－
特別利益合計	35,029	90,700
特別損失		
固定資産売却損	280	－
固定資産除却損	31,173	95
特別損失合計	31,453	95
税金等調整前四半期純利益	367,821	537,514
法人税、住民税及び事業税	142,717	228,557
法人税等調整額	8,022	10,727
法人税等合計	150,739	239,284
少数株主損益調整前四半期純利益	217,081	298,229
四半期純利益	217,081	298,229

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	217,081	298,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,196	△4,735
為替換算調整勘定	△68,515	△25,376
その他の包括利益合計	△89,712	△30,111
四半期包括利益	127,368	268,118
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,368	268,118

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	367,821	537,514
減価償却費	165,849	153,679
株式報酬費用	12,972	－
負ののれん償却額	△16,618	△16,618
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,368	△1,909
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△34,873	△90,700
受取利息及び受取配当金	△2,440	△2,350
支払利息	17,027	13,422
為替差損益（△は益）	△6,425	△5,572
投資有価証券売却損益（△は益）	△155	－
有形固定資産売却損益（△は益）	280	－
有形固定資産除却損	31,173	95
売上債権の増減額（△は増加）	136,431	13,727
たな卸資産の増減額（△は増加）	△58,261	△35,471
仕入債務の増減額（△は減少）	△85,224	21,569
その他の資産の増減額（△は増加）	△1,948	△2,422
その他の負債の増減額（△は減少）	△155,603	△153,645
小計	372,372	431,318
利息及び配当金の受取額	2,440	2,345
利息の支払額	△16,934	△10,804
法人税等の支払額	△307,274	△423,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,604	△522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,123	△72,691
投資有価証券の取得による支出	△898	△898
投資有価証券の売却による収入	367	－
その他の支出	△6,917	△3,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,571	△77,105
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△120,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△25,000	－
リース債務の返済による支出	△11,742	△14,888
ストックオプションの行使による収入	－	32
自己株式の取得による支出	△1,011	△105
配当金の支払額	△72,332	△87,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230,086	77,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,769	△2,280
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△257,823	△2,837
現金及び現金同等物の期首残高	1,721,749	1,448,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,463,925	1,445,517

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。